



紀南病院の研修では、診療所研修、離島研修、ふるさと訪問、地域探索など、今までの研修とは全く違った貴重な経験が出来ました。

地域医療とひとくくりと言っても離島と山間部の村では生活の環境も医療へのアクセスも全然違って、それぞれに合わせた医療の難しさについて考えさせられました。紀南での研修は終わってしまいましたが、人それぞれに合わせた医療についてこれからも考え続けていければと思います。

多くの方々の力を借りて充実した1か月を過ごすことができました。特に指導医の奥西先生にはCOVID-19の大流行もあり忙しい日々の中、研修医ができることを模索し提案していただきたくさん力になっていただきました。感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。この1か月を糧にしてこれからも励んでいきたいと思ひます。

鈴鹿中央総合病院 研修医 2年目 西峯朋加



私は三重県出身ですが、東紀州についてほとんど知らない状態で紀南病院に来ました。診療所での往診から入院、入院後の病棟管理を通して、入院前、入院中、入院後の流れをリアルタイムで経験することが出来ました。また、病棟業務・救急外来、診療所研修・訪問診療・離島研修など多くの学ぶ機会があり、医学的なことはもちろん、地域の生活や歴史を地元の人から直に聞くことが出来ました。

この1か月で食事、自然、歴史など多くのものに触れることができ、東紀州のことが少しわかるようになり、大変有意義な研修となりました。

ご多忙のところ、鈴木先生・佐藤先生、紀南病院の先生方、また医師以外のメディカルスタッフ、地域の住民の方々など数え切れないほど多くの方々にお世話になりました。優しくご指導していただき本当にありがとうございました。この1か月で学んだことを今後の診療に活かしていきます。

鈴鹿中央総合病院 研修医 2年目 本郷昭典



約1か月間を紀南病院で研修させていただきました。研修を始める前は地域医療に対してあまり想像が付きませんでした。しかし、診療所で患者さんと会話することで、そこでの生活や過ごし方など地域に沿った暮らしを実感しました。特に訪問診療で患者さんの家に訪ね、今の困っていることや、その時どのように対処しているか、どういう風に解決して欲しいかを聞いて地域医療というのを実感できました。現地の方々と話していて交通手段や環境の不便さはあるものの『住めば都』というのを形にしたかのような生活を間近に見て、聞くことができ貴重な1か月を過ごさせていただきました。

また休みの日はご当地の温泉や観光スポット、マグロ井や熊野牛を使った料理、鉱山など資料館の見学など、それぞれの地域の良さを知ることができ、是非また訪れたいと思ひました。

この1か月の間、自身の至らない所は多々ありました。しかしその中で先生方やメディカルスタッフの方々、地域の方々に支えていただき大変素晴らしい地域研修を過ごせたと思ひます。こうした経験を活かして今後も励んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。

伊勢赤十字病院 研修医 2年目 中林 修

